

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2001-503028(P2001-503028A)

【公表日】平成13年3月6日(2001.3.6)

【出願番号】特願平10-513794

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/14

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月6日(2004.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年8月6日

特許庁長官 小川 洋 殿



1 事件の表示

平成10年特許願第513794号

2 補正をする者

名 称 イースト・キャロライナ・ユニヴァーシティ
国 籍 アメリカ合衆国



3 代理人 〒107-0052

住 所 東京都港区赤坂3丁目2番12号

赤坂ノアビル8階

電話 03-3586-0108 (代表)

氏 名 (6006) 弁理士 奥 山 尚 男



(ほか2名)

4 補正対象書類名

請求の範囲

5 補正対象項目名

請求の範囲

6 補正の内容

別紙のとおり。



請求の範囲

1. 患者に対する化学療法剤の投与を原因とする該患者の内皮損傷を減らす方法であって、化学療法剤の投与と併用してエリスロポイエチンの内皮保護量を投与するステップを含む方法。
2. 前記のエリスロポイエチンの内皮保護量を、前記の化学療法剤と同時投与する請求項 1 に記載の方法。
3. 前記のエリスロポイエチンの内皮保護量を、前記の化学療法剤前に投与する請求項 1 に記載の方法。
4. 前記のエリスロポイエチンの内皮保護量を、前記の化学療法剤後に投与する請求項 1 に記載の方法。
5. 前記の化学療法剤がシスプラチンである請求項 1 に記載の方法。
6. 化学療法剤により治療されている患者の内皮細胞の阻止を強化する方法であって、該患者に化学療法剤の投与と併用してエリスロポイエチンの内皮阻止量を投与するステップを含む方法。
7. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤と同時投与する請求項 6 に記載の方法。
8. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤前に投与する請求項 6 に記載の方法。
9. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤後に投与する請求項 6 に記載の方法。
10. 前記の化学療法剤がシスプラチンである請求項 6 に記載の方法。
11. 前記の患者に小脳の血管内皮芽細胞腫、胸部の腺管癌および喉頭の扁平上皮細胞癌からなる群から選ばれる新生物成長体が存在する請求項 6 に記載の方法。
12. 治療を必要とする患者の血管新生した固形腫の治療方法であって、エリスロポイエチンの内皮阻止量と併用して抗腫瘍化学療法剤を投与するステップを含む治療方法。
13. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤と同時投与する請求項 1 2 に記載の方法。

14. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤前に投与する請求項 1 2 に記載の方法。

15. 前記のエリスロポイエチンの内皮阻止量を、前記の化学療法剤後に投与する請求項 1 2 に記載の方法。

16. 治療を必要とする患者における器械による傷害、放射線に対する暴露、炎症、心疾患または癌を原因とする内皮損傷の治療方法であって、該患者に内皮保護量のエリスロポイエチンを投与するステップを含む治療方法。